

メロスの苦悩は、太宰の苦悩。

芸術鑑賞公演

一人で音楽劇  
演じる  
走れメロス

走って、歌って、熱く演じて。  
「最後までノンストップの、モノ・ミュージカル」

原作 太宰治

音楽 小塚憲二

構成/出演 杜川リントロウ

クラリネット つつみあつき

ピアノ 伊藤真理子 他

公演実績<2009年初演>

愛知県芸術劇場、大高緑地アートフォーラム、WEST DARTS CLUB、名東区よもぎコミュニティセンター、愛西市八開中学校、東浦町森岡子ども会、武豊町富貴中学校、春日井市高森台中学校、名古屋市黄金中学校、瀬戸市本山中学校、バルティセと、岐阜子ども劇場スマイルパーク、瀬戸銀座通り商店街たまごや、子ども劇場おやこ劇場埼玉センター、石川県珠洲市全中学校巡演、福井県坂井市丸岡南中学校、高岡市牧野中学校石川県能登町松波中学校、宮城県なとり子ども劇場、蒲郡おやこ劇場西尾おやこ劇場、富山市山田中学校、箕面おやこ劇場、福島おやこ劇場、稲沢おやこ劇場、富山県高岡市国吉中学校、緑区鳴子台中学校、高岡市南星中学校、こんごうおやこ劇場、石川県能美市寺井中学校、豊明おやこ劇場、しんしろ子ども劇場、滝川おやこ劇場、岩見沢おやこ劇場、苫小牧西おやこ劇場、室蘭おやこ劇場、函館おやこ劇場、富山県入善町立入善西中学校、高岡市立伏木中学校、小牧市あさひホール（JA）、多治見おやこ劇場、刈谷・知立・安城おやこ劇場、小坂井おやこ劇場、福井県美浜中学校、高岡市中田中学校、静岡県湖西市白須賀中学校、高岡市芳野中学校、多治見市南姫中学校、中川区山王中学校、土岐おやこ劇場、他。（順不同、敬称略、2016年度確定済み含む）  
同時上演「リーディング太宰治」「ショートクラシックコンサート」「声のワークショップ：大声競争」など



# 「人が人を信じる事」とは一体どういうことなのか… 太宰の葛藤は、メロスの葛藤。

不朽の友情物語として様々な形で語られる事が多い、走れメロス。  
しかし、その原作をちゃんと読んだことはありますか？

人間というものはどういうものか。

この作品の着想には、熱海で太宰自身が金に困り友人を人質にし、  
借金の為に井伏鱒二の元へ走った実際の出来事が関係していると言われてい

(…結局、太宰の場合は戻ってこなかったのですが…)

その経験を元に、太宰は繰り返していた自殺心中未遂やその他の体験など、  
自身の人間としての弱さ、罪の意識、葛藤をこの作品に詰め込んで書き上げました。

老爺の話聞いた途端、頭に血が上り、一時の感情で王の暗殺を企てるメロス。  
王に死ぬ覚悟は出来ている、と威勢良く見得を切りながらも、妹を思い出してそれを翻すメロス。  
約束のため、何も知らない親友のセリヌンティウスを自分の身代わりに突然差し出すメロス。  
自分で自分の事を勇者だ、立派な人間だと言いながら、平気で寝坊をするメロス。  
しまいには猛烈な自己弁護を繰り返しながら、揺らぎ、諦めかけるメロス…  
落ち着いて原作を読んだなら、メロス、お前はなんとという酷い奴！  
しかし、それでもこのメロスという男は魅力的なのが面白いところです。

そんな原作に忠実に、体当たりで挑むのが本作・

「一人で演じる走れメロス」。

演奏、歌、演技…そして、一生懸命、走る！

死ぬほど走るうちに、メロスの気持ちも、

太宰の葛藤も全部まとめて乗り越えて、

「何か大きく恐ろしいもの」が見えてくると思うのです。

人が人を信じるということ、

果たしてそれは本当に可能なのか。

「信じる」、その言葉を発した瞬間から、  
裏切りは始まっているのではないのだろうか？

そんな事を問いかける太宰の声に、

バカ正直に正面から応えてみようと思います。

僕は、どれだけメロスの弱さに近づけるのでしょうか。

<杜川リントロウ>

音楽劇

一人で演じる走れメロス



## 生徒参加により、会場が一体に。

当公演は、可能ならば本編中への生徒の出演もお願いしております。

当日の簡単な30分程度の打ち合わせとリハーサルの後、

「親友セリヌンティウス」「メロスの妹」「妹の婿」の役として

短時間の簡易な出演をしていただきます。

また、本編の前にはステージ上で元気な生徒さんに声を出してもらってワークショップ的遊びも行っています。

上記の取り組みは、演劇・ミュージカルの芸術鑑賞が苦手な生徒も巻き込み集中させ、大変好評を戴いております。

ぜひともあわせてご検討下さい。





## 音楽劇「一人で演じる走れメロス」

原作 太宰治「走れメロス」  
構成・出演 杜川リントロウ  
作曲・編曲 小塚憲二  
基本編成 5人(役者1、演奏者2、音響1、照明1)  
演奏 つつみあつき(クラリネット)  
伊藤真理子(ピアノ)

上演時間 通常90分(本編のみならば40分)  
仕込み時間 通常2時間~(前日準備→当日短時間でも可能)  
上演時期 通年  
対象年齢 中学生/高校生、大人  
会場 ホール、体育館、公民館、野外でも可  
上演料 規模により異なる。応相談。  
例) 学校等上演料の目安→生徒数×840円~  
ホール等の企画公演→30万円以上  
※通常編成での最低上演料は15万円より

予算が100万円を超える場合、吹奏楽団と共演し  
最大で演奏者15人前後のスタイルもご提案できます。  
(楽団: ジャパン・ウィンド・アンサンブル)

また、逆に予算も少なく客席数も150名以下の場合、  
自動伴奏にしてクラリネットのみ生演奏の編成も可能です。  
その場合、8~10万円程度のご予算からお受けできます。

### <ステージ構成例>

- ・演奏者紹介「クラシック・ミニコンサート」(5分)
  - ・作品解説朗読劇「リーディング太宰治」(2.5分)
  - ・声のワークショップ「叫べ! 青春の主張」(10分)
  - ・休憩(10分)
  - ・音楽劇『一人で演じる走れメロス』(40分)
- (以上、計90分)

上記の予算や構成例等、あくまで一例です。  
まずはご相談下さい。

走つて、歌つて、熱く演じて。  
最後までノンストップの、モノ・ミュージカル。

小塚憲二(作・編曲家)  
「ショウ・ボート」「ビッグ」等、  
名古屋市文化振興事業団主催の舞台作品の編曲を毎年のように務める。  
その他、今までに数千曲の作・編曲を行なっている。  
最近では人形劇団むすび座「ピノキオ」「アラビアンナイト」の音楽など。

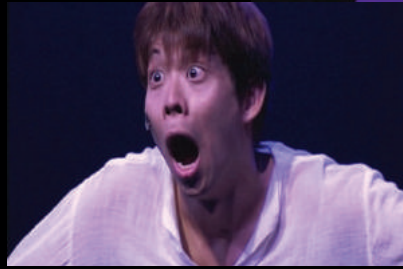
つつみあつき(クラリネット)  
オーストリア国立ウィーン舞台芸術大学演奏学科  
クラリネットシュミテル教授クラスに留学。  
同音楽大学教授会全会一致最優秀ディプロマ賞を受賞。  
ウィーン・ライモンド歌劇場首席奏者、  
リゲティ木管五重奏団メンバーとして活躍の後、帰国。  
ウィーンフィル日本公演(歌劇「ヴォツェック」アハド指揮)に賛助出演。  
NHKFM「フレッシュコンサート」「名曲リサイタル」全国放送に出演。  
小松孝文教授、シュミテル教授、エルベルガー教授(室内楽)の各氏に師事。  
2006年よりつつみあつき・クラリネット・コンサートを連続開催中。  
その活動に対し(財)愛銀教育財団より文化活動助成を受ける。  
2011年から「夏休みまるまる一日子どもコンサート」を開催し、音楽劇、ミュージカル、  
パレエを取り入れた独創的な公演に取り組みなど多岐に渡って活躍中。  
日本演奏連盟会員、ムジカセラミカ振興会演奏者会員。  
モック木管五重奏団代表、JWE楽長。  
TSM主宰、JWE吹奏楽団楽長、MiA、HessenTrioメンバー。  
平成25年度名古屋市芸術奨励賞を受賞。

伊藤 真理子(ピアノ)  
愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。  
東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了、音楽研究室員を務める。  
国際芸術連盟新人推薦オーディション合格のほか、  
ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター達とピアノトリオ共演。  
日仏音楽協会フランス音楽コンクール第3位、  
併せてフランス総領事賞、関西ピアノ音楽専門学校賞、  
日仏学館賞などを受賞、21世紀ピアノコンクール第3位など。  
これまでに、太田由美子、百瀬雅恵、大塚敦子、水野紀子、窪田 隆の各氏に師事。  
現在、独奏、伴奏、室内楽など幅広く演奏活動を行っている。  
名古屋フランス音楽研究会員、ヘッセトリオ、アンサンブル・ノービレ、  
吟遊詞人、Pas a pas、トリオ・マカロンの各メンバー。  
愛知文教女子短期大学非常勤講師。

熱気を叩きつけ歌い上げ走破する  
迫力のステージ。  
全国各地で大好評上演中です。

ホームページより  
公演の全てを視聴可能!  
ぜひご検討の資料に  
ご覧ください。





全国的にも珍しい個人で活動する「プロの芝居屋」。  
 総合劇団俳優館に10年弱在籍、ミュージカル等の全国巡演後、正式に独立。  
 劇団在籍中より様々な個人活動も行い、活動の場は多岐に及ぶ。  
 平成15年度、文化庁新進芸術家公演事業「ねこはる」(俳優館)出演。  
 平成18～21年度、文化庁本物の舞台芸術体験事業「ねこはる」(俳優館)出演。  
 平成20～21年度、瀬戸市等主催の総合芸術祭「奏・創・そう」総合制作・総合広報。  
 平成22年度、大須大道町人祭ローピング部門「享保の象」出演。  
 平成23年度より、相山女子学園大学「ケースメソッド1(渡邊康教授)」ミュージカル指導。  
 平成24年度、パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)芸術家派遣事業  
 「知立市内幼保育園小中学校巡回事業」(文化庁事業)選考、選考団体中最多公演選出。  
 平成25年度、事務所兼劇場として小劇場「PICO」をオープン。  
 同年、「新しいうたを創る会」第8回名古屋初演演奏会」出演。  
 (あいとりエンターレパートナーシップ事業、愛知県芸術文化選奨文化新人団体賞受賞)  
 平成27年度、市民参加型企画ミュージカル「不思議の国のピーター・パン」演出・出演・上演。  
 (名古屋市東文化小劇場＝名古屋市文化振興事業団 共催事業)



公演の全編動画をyoutubeにアップロードしております。  
 ホームページよりご覧いただけますので、  
 ぜひご検討の材料にご覧下さい。  
 “杜川リントロウ”で検索。「芝居屋杜川リントロウ出張公演」  
 URL <http://m-rintaro.jimdo.com/>  
 その他の公演の動画視聴や、資料もダウンロード可能です。



# 芝居屋杜川リントロウ 出張公演

〒465-0012 愛知県名古屋市名東区文教台1-701 高平ハイツ101号 森川方  
 TEL 090-1291-1603(直通)  
 052-710-7470(※不在が多いです) FAX 020-4669-8679  
 E-mail t2197359@gmail.com / t2197359@outlook.com

## <鑑賞後の感想>

- 「走りながら演技をしたり歌っていて驚きました。私も辛いことがあっても諦めず一生懸命頑張ろうと思いました。」(中学1年生)
- 「もう一度教科書を読みたいと思います。今度は見方が変わると思います。」(中学2年生)
- 「メロス!メロス!面白かった!」(中学3年生女子一同)
- 「今まで見た舞台の中で一番感動しました!」(20代女性)
- 「家内は泣いていました。」(49歳男性)
- 「生徒があんなに盛り上がりながらも終始集中して観ていたのは、嬉しい驚きでした。(担当教諭)」
- 「難しい曲を演技とともに歌い上げるとは。拍手喝采です。」(校長先生)
- 「企画して本当に良かったです。」(公民館責任者)

